

中小企業の経営支援および 地域の活性化のための取り組みの状況

■中小企業の経営支援に関する取組方針

当金庫では、地域社会やお客様から頼りにされる「ベストパートナー金融機関」を目指して、役職員一丸となってお客様の課題解決に取り組んでおります。

今後も、創業期から承継期に至る企業のライフサイクルに応じて、お客様の経営課題に最適な解決策を、お客様の立場に立って提案・支援し、地域経済の活性化に貢献してまいります。

また、お客様から経営に関するご相談があった場合には、お客様の抱えている課題を十分に把握したうえで、その解決に向けて真摯に取り組んでまいります。

■中小企業の経営支援に関する態勢整備・取組状況

当金庫では、お取引先中小企業の経営を支援するための部署として企業サポート部を設置しております。

企業サポート部には、中小企業診断士4名をはじめとし、総勢8名の職員を配置して、商工団体協力機関など外部中小企業支援機関と連携し、態勢の整備を図っております。

また、事業性評価や課題解決に関する研修を実施し、人材の育成にも取り組んでおります。

経営革新等支援機関の認定

中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等支援機関」として平成24年11月5日付で認定を受けました。

各営業店を通じて企業経営に関する様々なご相談を受け付け、関係部署および外部機関と連携し、補助金事業等の中小企業支援策についての情報提供や中小企業が抱える課題解決に向けて積極的に取り組んでおります。

中小企業の皆様

相談 ↓ 支援 ↑ 提案

千葉信用金庫
経営革新等支援機関
営業店49店舗

共有

企業サポート部

連携

【外部機関】

- ・千葉県産業振興センター
- ・千葉県事業承継・引継ぎ支援センター等

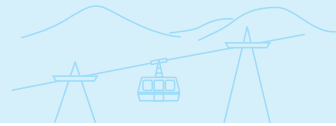
経営改善支援の取り組み実績

当金庫では、支援対象先に対し営業店と企業サポート部が一体となって経営改善計画策定支援や経営情報等の提供を行うとともに計画進捗管理、業況管理等により、お取引先企業の経営改善に取り組んでおります。

【令和7年4月～令和8年3月】

	期初 債務者数 A	うち 経営改善支援 取組み先数 α	αのうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数			経営改善 支援 取組み率 α/A	ランク アップ率 β/α	再生計画 策定率 δ/α
			β	γ	δ			
正常先 ①	6,813	0	0	0	0	0.0%	—	—
要注意 うち その他 要注意先 ②	1,484	19	1	17	16	1.2%	5.2%	84.2%
うち 要管理先 ③	25	1	0	1	0	4.0%	0.0%	0.0%
破綻懸念先 ④	133	10	0	8	7	7.5%	0.0%	70.0%
実質破綻先 ⑤	314	2	0	2	1	0.6%	0.0%	50.0%
破綻先 ⑥	48	0	0	0	0	0.0%	—	—
小計 (②～⑥の計)	2,004	32	1	28	24	1.5%	3.1%	75.0%
合計	8,817	32	1	28	24	0.3%	3.1%	75.0%

- (注)・期初債務者数及び債務者区分は令和7年4月初時点まで整理。
・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業（個人事業主を含む。）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含めない。
・βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載。
なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含めない。
・期初債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含める。
・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めない。
・γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載。
・「αのうち再生計画を策定している全ての先数 δ」には、金融機関独自の再生計画策定先のほか、千葉県中小企業活性化協議会、RCC、地域経済活性化支援機構、産業復興機構、東日本大震災事業者再生支援機構などと連携した再生計画策定先を含む。



1. 創業サポート

創業支援の一環として、印西市が主催する「印西市女性向け起業スクール」で当金庫職員が講師を務めました。

起業時に活用できる融資制度や当金庫の本業支援の取り組みについて講義を行い、午後には個別相談会を実施し、参加者の創業計画に対して助言を行いました。



2. 企業実地診断

中小企業診断士の国家資格を持つ職員を中心として、お取引先企業に対する経営情報の提供や経営上のアドバイスとして「企業実地診断」を実施しております。

平成16年7月に本サービスを開始し、令和8年3月末までに累計56社に診断サービスを実施いたしました。

職員が診断企業に出向いて従業員へのヒアリングや現地調査を行い、実態把握・問題点の抽出から診断結果の報告・支援メニューの提案まで一貫した支援を提供しております。

3. 事業承継支援

事業承継診断

事業承継に関する現状把握・支援展開のため、令和7年度は558社のお取引先企業に事業承継診断シートを用いたヒアリングを実施いたしました。ヒアリングにより具体化した課題をもとに、事業承継計画の作成や、後継者不在企業に対する当金庫取引先とのM&A成立等を支援しました。

個別相談会

千葉県事業承継・引継ぎ支援センター、千葉県よろず支援拠点（公益財団法人千葉県産業振興センター）との連携により、事業者向けに無料の個別相談会を開催しております。

令和7年度は35社が各相談会に参加し、事業承継等の経営課題に対して専門家からのアドバイスを受けました。

4. 販路拡大支援

ちばしんきんビジネスマッチングサービス

お取引先企業のニーズ（買いたい・売りたい）情報を庫内ネットワークの情報掲示板へ掲載し、職員がお取引先企業の様々なニーズ「〇〇したい！」に合うマッチングを行い、販路拡大や新たな業務提携先の開拓等を支援しております。

令和4年4月に本サービスを開始し、令和8年3月末時点で369件の商談が成立いたしました。令和7年度は、当金庫が橋渡し役となりお取引先企業同士で111件の商談が成立いたしました。



2025しんきん食の商談会 in CHIBA

千葉県内の信用金庫（銚子、東京ベイ、館山、佐原）・千葉県信用金庫協会と合同で、千葉県内の様々な名産品と食品バイヤーの皆様との出会いの場を創出するため、食の商談会を開催いたしました。

当日は、食品サプライヤー85社、食品バイヤー52社が合計473件の商談を行い、「取引希望」「商談継続」となった件数は、333件に上りました。



中小企業の経営支援および地域の活性化のための取り組みの状況

中小企業の経営支援および 地域の活性化のための取り組みの状況

5. 人材支援

お取引先企業の多様な人材課題に対する支援を強化するため、令和6年12月に有料職業紹介事業の許可を取得し、令和7年5月には先導的人材マッチング事業の間接補助事業者に採択されております。

多様化する人材ニーズや後継者不在等の経営課題に対し、株式会社地域経済活性化支援機構（REVIC）が運営する人材紹介プラットフォーム「レビキヤリ」を導入し、千葉県プロフェッショナル人材戦略拠点との連携や様々な人材紹介会社とのネットワークを活用し、Face to Faceの地域金融機関の特長を活かした親身なサポートで、最適な人材の紹介支援を行っています。

人材支援に関する連携協定

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構（JEED）千葉支部と相互に連携して人材支援に取り組むことに合意しました。

6. その他支援

経営支援プラットフォーム「Chiba Big Advance」

中小事業者向け経営支援プラットフォーム「Chiba Big Advance」を通じて、金融機関同士の連携による地域の垣根を超えたビジネスマッチング支援をはじめ、ホームページの作成や福利厚生クーポン機能等で、取引先企業の販路拡大やデジタル化を支援しております。

令和8年3月末現在では、お取引先企業966社にご利用いただいております。

「お客様と金庫職員がともに歩む勉強会」の開催

令和7年12月、千葉信用金庫の「ともに歩む」という経営理念に基づき、日本弁理士会 関東会と共催し、昨年に続き、お客様と当金庫職員がともに知財意識と企業価値への理解を深める勉強会を開催しました。

ビジネスパートナーとの連携

遊休不動産の活用、人材採用、DX化、事業承継・M&A等、多様化するお客様のニーズに対して最適なソリューションを提供するため、ビジネスパートナー約45社(令和8年3月末現在)との提携のもと、支援を行っております。

7. 「経営者保証に関するガイドライン」への取り組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」および「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客様からお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組方針」を策定しております。同取組方針に基づき、経営者保証の必要性については、お客様との丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めております。

	令和7年度
新規に無保証で融資した件数	3,711件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	46.59%
保証契約を解除した件数	113件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限り)	0件





■地域の活性化に向けた取り組み

しんきん圏央道アライアンスに関する取り組み

圏央道沿線に本・支店を置く5つの信用金庫（千葉、水戸、埼玉縣、平塚、多摩）は、地域を横断した信用金庫の新たなネットワークを構築することにより、圏央道沿線等の地域活性化や観光資源の活用など、地域貢献・地方創生を通じて地域経済の発展に繋げることを目的とした「しんきん圏央道アライアンス」の協定を締結しております。

「Deep圏央道」Instagram公式アカウント更新中！

SNSのInstagram公式アカウント「Deep圏央道」では、5つの各信用金庫職員の「地域レポーター」が、信用金庫職員だからこそ知っている隠れた名産品や自然景観などを掘り起こし、地域の魅力を発信しております。



「Deep圏央道」の
Instagramはこちらから！

中小企業の経営支援および
地域の活性化のための取り組みの状況

いちはら食の彩りマルシェを開催

令和8年3月に小湊鐵道五井駅「こみなと待合室」にてマルシェを開催しました。地域製品の販売促進や地域の賑わい創出を目的とし、当日は出店者の「こだわり」や「想い」を伝える機会となりました。その他、子どものお楽しみスペースや抽選会、房総昔話かみしばい会といったイベントや、小湊鐵道SL車両撮影会にはお子様連れのファミリー層・鉄道ファン等にご来場いただき、大変盛況となりました。



コマ大戦への協賛

千葉県内の製造業者を中心に平成25年5月に立ち上げ、千葉からモノづくりの魅力を発信することを目的に実施し、自らの技術と誇りをかけて制作したコマで戦う「コマ大戦」に当金庫は協賛しております。



ちばしんきん景況レポート

当金庫営業区域内の中小企業を対象に、景気動向調査を実施しております。

四半期毎にお取引先約500社にアンケートを実施し、地域経済の動向について調査結果を取りまとめ、事業者の皆様の経営にお役立ていただいております。

取引先への企業インタビューなど、お客様の生の声を掲載することで、より現実的な景況感を提供しております。

